

認定特定非営利活動法人
しみん基金・こうべ

平成 28 年度事業報告書



平成 29 年 5 月

はじめに

平成 28 年度は、「市民ファンド推進助成プログラム」(助成元：市民社会創造ファンド)の助成金を受けて、外部の協力者をお招きして「ファンドレイジング戦略会議」を行い、ファンドレイジング力の基盤強化のための中期ビジョン案づくりと、寄付プログラムの新規開発とその試行に取り組みました。

新規寄付プログラムの試行としては、10 月に神戸新聞事業社と連携して、ラジオ関西まつりにブース出展するかたちで、チャリティ×防災啓発イベント「ローリングストックって？」を開催しました。また、平成 29 年 2 月には、チャリティ・パーティー「寄付がちなげるひと、育てるまち～Tanimatching2017」を開催しました。

平成 28 年度助成事業では、今回も「次代の市民活動の担い手育成を重視する」と「地域との連携の観点を重視する」というテーマを掲げて実施しました。そして、10 月に開催した公開審査会の結果、8 団体(一般枠；7 団体、特定枠；1 団体)の各事業に合計 2,248,000 円(一般枠；1,998,000 円、特定枠；250,000 円)の助成金を交付しました。

上記のファンドレイジング戦略会議で策定した中期ビジョン案では、「KOBE をチャリティで溢れる街にしよう！」というビジョンを掲げ、当基金の各事業の位置づけを整理してみました。

平成 29 年度は、そのさらなるブラッシュアップを図りながら、ファンドレイジング力を強化していくことで、市民や企業市民等の支援者と社会的な課題解決に役割を果たしている市民活動団体を育みつつ繋げていく役割を、より一層担ってまいります。

皆様方からの更なるご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

認定特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ
理事長 戎 正晴

目次

はじめに	2
目次	3
1 助成事業	
ア) 平成 28 年度助成事業	4
イ) 平成 28 年度しみん基金・KOBЕ 特別賞	6
ウ) 平成 27 年度助成事業成果報告会	6
2 寄附・募金活動	
ア) 寄附金・募金受入	7
イ) イベント募金	8
①こうべ・あいウォーク 2017 <協働>	
ウ) 協働企画型寄付システム	8
①古着チャリティ事業 <協働>	
②寄附つきクッキー <協働>	
③Yahoo ネット募金 <協働>	
④古本キフ <協働>	
エ) ファンドレイジング力基盤強化	9
①ファンドレイジング戦略会議→中期ビジョン案策定	
②新規寄付プログラム試行	
-1 チャリティ×防災啓発イベント「ローリングストックって？」	
-2 チャリティ・パーティー「寄付が繋げるひと、育てるまち」	
③データベースの構築	
オ) 広報・情報発信	11
3 中間支援事業	
ア) ハンズオン型 NPO マネジメント講座<助成>	12
イ) NPO 支援活動	13
ウ) はあ〜とふるふぁんど支援事業<受託>	14
4 運営管理	
ア) 会議	15
イ) 管理	15
ウ) 運営上の重要事項	16

1 助成事業

ア) 平成 28 年度助成事業

①助成の趣旨

しみん基金・こうべは、神戸市を中心とする地域の市民団体等による公益を目的とした活動に対して助成をし、それによって市民団体等の活動を促進し、21 世紀の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的とする。

②応募対象者

1. 神戸市及び周辺の地域に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体

③助成金額

平成 28 年度助成事業は、助成総額 250 万円を予定しました。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災や熊本地震など大規模自然災害で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 50 万円 を上限とする。	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 25 万円 を上限とする。
	助成総額は 200 万円までを予定。	助成総額は 50 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、公開審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

④ 助成事業の内容

- 1) 平成 28 年度基本方針：A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
B. 地域との連携の観点を重視する。
上記 A B の一方、もしくは両方をふまえた申請内容とすることとした。
- 2) 助成対象期間：平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日までの 1 年間における事業を対象とした。
- 3) 選考優先事項：助成先選考にあたっては、上記の基本方針を踏まえ、かつ市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性のあるものを、優先した。
- 4) 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）、負担金（諸会費）※交際費は対象外。
- 5) 申請受付期間；平成 28 年 7 月 19 日（火）～平成 28 年 8 月 26 日（金）

個別相談団体数：延べ10件

申請受付団体数：26団体（一般枠；24団体、特定枠；2団体）

⑤ 書類選考 以下の通り、書類選考（1次審査）を実施した。

開催日時：平成28年9月16日（金）18:00～20:00

場 所：しみん基金・こうべ事務所

形 式：理事会にて審議

選考結果：17団体（一般枠；16団体、特定枠；1団体）

注）なお、特定枠については書類選考後の聞き取り調査を行い、その結果書類選考で残すのに相応しい団体は1団体のみと決定した。

⑥ ヒアリング調査 以下の通り、書類選考された16団体の活動拠点を理事等で手分けして訪問し、ヒアリング調査を実施した。

期 間：平成28年9月30日（金）～平成28年10月7日（金）

形 式：当基金理事による訪問、ヒアリング調査報告書の作成

⑦ 公開審査会 以下の通り、書類選考された一般枠16団体のプレゼンテーションによる公開審査会を開催した。

開催日時：平成28年10月28日（金）13:00～17:30

会 場：神戸市青少年会館レクリエーションホール

出席審査員（順不同・敬称略）：

森崎 清登（審査員長）、齋本 郁、山田 剛司、辻 幸志、
岡野 亜紀子、石田 祐、佐竹 義浩

⑧ 助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の8団体（一般枠；7団体、特定枠；1団体）の各事業に合計2,248,000円（一般枠；1,998,000円、特定枠；250,000円）の助成金を交付することを、同日に開催された当基金理事会にて決定した。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	シルバーカレッジ里山花実の森プロジェクト	環境学習「カブトムシの棲み家づくりから成虫までの観察体験」
	2	舞子坂ふーみん	空き家利用の居場所～家庭料理と誰でも参加のカルチャー教室～
	3	日韓学生会議	第57回日韓学生会議
	4	（特活）そらしど	障がい理解のための出張公演プログラム開発と障がい児保護者への子育て支援事業
	5	兵庫県喉摘障害者福祉協会 神鈴会	喉摘障害者の代用音声発声指導員の養成研修
	6	ガリレオクラブインターナショナル	入院児や障がい児と一緒に万華鏡でニコニコプロジェクト
	7	（一社）new-look	夜の街の若者へ『夜回り』から『学び直し』のきっかけを届ける事業

特 定 枠	T1	どろんこキャラバン☆たんば	どろんこキャラバンたんば☆サマーキャンプ 2017
-------------	----	---------------	------------------------------

⑨ 覚書締結・助成金交付

上記各団体としみん基金・こうべ事務所にて、11月8日（火）に助成金交付に関する覚書を締結した。また、11月22日（火）までに、各団体に対して助成金を交付した。

⑩助成先団体活動レポート

助成先団体が助成金を使用してどのような成果を生み出しているのかを、広く寄附者や市民に知ってもらうために、助成先団体を訪問して、その活動の様子をレポートとしてまとめて、当基金ホームページで下記のとおり発信した。

- ・4/9：(特活) Peace&Nature
- ・5/24：避難者と共に歩む神戸の会
- ・6/14：居空間 RoCoCo
- ・7/21：自立生活センターリングリング
- ・7/25：アトリエ太陽の子
- ・8/7：(特活) 兵庫県子ども文化振興協会
- ・9/7：東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream

イ) 平成28年度しみん基金・KOBE 特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与されるものです。公開審査会同日に開催された理事会の審議により、今年度は「ミュージック・アトリエ「エコー」」に決定しました。なお、後述の平成27年度助成事業成果報告会にて、贈呈式を行いました。

ウ) 平成27年度助成先事業成果報告会

平成27年度助成事業（助成対象期間：平成27年10月1日～平成28年9月30日）について、平成28年10月末日までに事業報告書を提出頂きました。また、事業成果報告会を下記の通り実施しました。

- ・開催日時：平成28年12月9日（金）13:30～16:00
- ・開催場所：神戸市青少年会館レクリエーションホール
- ・発表団体：東日本大震災避難者の会 Thanks&Dream、アトリエ太陽の子
自立生活センターリングリング、FOP 明石、(特活) Peace&Nature
(特活) 兵庫県子ども文化振興協会、(特活) しゃらく、避難者と共に歩む神戸の会
- ・開催のねらい：
 - ①各団体の事業によって得られた社会的な成果を、寄附提供者や審査のプロセスにご協力いただいた皆さんと共有する。
 - ②市民活動・ボランティア活動など民間による公益的活動を市民自らの力で支えることの大切さを分かち合う。
 - ③各団体報告を傾聴することで新しい気づきや学びと出会いやネットワークづくりのきっかけにご活用していただく。

2 寄附・募金活動

ア) 寄附金・募金受入

以下のみなさんより寄附金を頂きました。(敬称略・順不同)

羽下 大信	津久井 進	江口 聰
戸田 香苗	(株)078	瀬戸口 延恵
中谷 豊	田邊 信男	
(株)夢舞台★	奥井電機(株)★	戎・太田法律事務所★
近畿タクシー(株)★	金公認会計士事務所★	(株)ピーエス★
(株)甲南堂印刷★	(特活)農楽マッチ勉強会★	(社福)三光事業団★
内外興産(株)★	(株)マニックス★	(学法)行吉学園★
(株)築港★	佐藤庸安税理士事務所★	生活協同組合コープこうべ★
(有)ボック★		
ラジオ関西まつり来場者*	(一財)敬愛まちづくり財団	中嶋 貴子
髯本 郁	山田 剛司	佐竹 義浩
辻 幸志	石田 祐	赤松 竜
こうべあいワーク実行委員会	井上 由紀子	兵遊協福祉基金
(株)ロックフィールド☆	(株)神戸介護ケアウィング☆	コーベベビー(株)☆
(一社)こうべつながり☆	石田 茂☆	植田 雅人☆
(株)伊藤商会☆	戎 正晴☆	(株)阪神調剤薬局☆
鬼本 英太郎☆	勝部 慶子☆	(株)LEIS☆
久戸瀬 昭彦☆	斎藤 英彦☆	瀬戸口 仁三郎☆
高島 章光☆	當間 克雄☆	中西 大樹☆
中村 順子 ☆	大阪石材工業(株) ☆	林 英伸☆
積水ハウス(株) ☆	前田 典俊☆	南 嘉邦☆
森竹 和政☆	八木 議大☆	フェリシモ(株)☆
福原 敏晃☆	大和リース(株)神戸支店☆	
中島 秀男	飛田 雄一	未来の社会を考える仲間たち
ヤフー(株)	ブックオフオンライン(株)	ブックオフコーポレーション(株)
(有)ボック		
オレンジスリフティ ((有) 神戸国際マーケット) へ古着を提供して頂いた皆様		
他匿名希望 2名		

総額 ￥2,560,697

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

なお、★印は「チャリティ×防災イベント」への協賛金として、☆印はチャリティ・パーティー「寄付が繋げるひと、育てるまち」への協賛金として 寄付を頂きました。また、*印は募金箱設置によるものです。

イ) イベント募金

① こうべ・あいウォーク2017 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして開催しました。スタート地点での募金(一口千円)は、当日の経費を差し引いて当基金へご寄付頂きました。

■主催: こうべ・あいウォーク2017実行委員会((特活)神戸まちづくり研究所、(特活)まちコミュニケーション、(特活)しみん基金・こうべ)

■協力: 近畿労働金庫地域共生推進室

■日時: 平成29年1月15日(日) 9:30~13:30

■場所: 長田区(大国公園~鉄人28号モニュメント前、大正筋商店街、丸五市場 ~みくら5)

■実績: 参加者/約150人、寄附金額/¥133,704

ウ) 協働企画寄付システム

① 古着チャリティ事業 (協働事業)

この事業は、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としています。

引き続き(有)長崎屋ホワイト急便神戸と提携して、クリーニング回収チェーン店3店舗に「古着寄附BOX」を設置して、古着チャリティ事業の認知度を高め、古着回収の増加に努めた。

また、5月にはアースデイ神戸にブース出展して、古着回収を呼びかけた。

■提携先: (有)神戸国際マーケット 寄附金額: ¥201,790

② 寄附つきクッキー (協働事業)

昨年度から引き続き、神戸洋菓子「ボックス」のご協力により、寄附つきクッキー「有馬ソルトクッキー」(10枚入り、1080円・税込)を販売しました。ボックスの各直営店等にて販売されていて、売上の3%が当基金へ寄付されました。

■提携先: (有)ボックス 寄附金額: ¥154,643

③ Yahoo ネット募金 (協働事業)

昨年度から引き続き「Yahoo! ネット募金」にて、余ったTポイントや期限切れ間近のTポイントを寄付できる仕組みに登録しています。これまでの「ずっと・こころ・つなぐ基金」に加えて、「おたがいさま基金」へも今年度より募金できるようにしました。

■提携先: ヤフー(株) 寄附金額: ¥47,894

④ 古本キフ (協働事業)

今年度から、ブックオフコーポレーション(株)と連携して、同社の「ボランティア宅本便」という仕組みを通じて、当基金へ古本やDVD等で寄付ができるようにしました。

■提携先: ブックオフオンライン(株)、ブックオフコーポレーション(株)、寄附金額: ¥14,966

⑤ その他

1) ろうきんNPO 寄付システム 提携先: 近畿労働金庫、寄附金額: ¥12,000

2) 募金箱 協力設置場所: 2ヶ所 募金金額: ¥12,643

オ) ファンドレイジング力の基盤強化 ※「市民ファンド推進助成プログラム」助成

① ファンドレイジング戦略会議

- 1) 目的：これまで当基金が取り組んできた草の根支援や多様な寄付手法の成果を検証した上で、当基金が創ってきた社会的価値を明確にし、その持続的な実現のための中期ビジョンと広報・寄付戦略を策定する。
- 2) メンバー：當間克雄（兵庫県立大学経営学部教授）、河合将生（Office Musubime 代表）
戎正晴（当基金理事長）、瀬戸口仁三郎（当基金専務理事）、江口聰（当基金事務局長）
戸田香苗（当基金スタッフ）
- 3) 実施内容：
 - a. 第1回会議：2016年2月11日（木）これまでの経緯とこれからの目的の共有、期待される社会的価値を検証するために必要な調査項目の検討
 - b. ヒアリング調査：2016年3月下旬～4月上旬 村井雅清副理事長、相川康子審査員、今田忠氏、神戸新聞事業社
 - c. 第2回会議：2016年4月15日（金）ヒアリング結果報告、報告からみえる当基金の社会的価値、今後の進め方
 - d. 第3回会議：2016年6月3日（金）当基金の社会的価値と広報・寄付戦略の具体策についての意見交換
 - e. 「PDMシート」の作成：2016年6月
 - f. 第4回会議：2016年8月5日（金）ビジョンをよりわかりやすくする為のキャッチコピー、当基金の支援者のターゲット層
 - g. 第5回会議：2016年9月8日（木）中期ビジョンづくりに向けての意見交換
 - h. 中期ビジョン&アクションプランたたき台案を検討・制作：2016年10～11月
 - i. 第6回会議：2016年11月25日（金）中期ビジョン&アクションプラン案づくりに向けての意見交換
 - j. 第7回会議：2016年12月22日（木）中期ビジョン&アクションプラン案の策定
- 4) 中期ビジョン&アクションプラン（案）
 - a. ミッション：市民主役の「市民社会」をつくる
 - b. 当基金として大切にすべき価値：「自発性・自律性」「主体的な参加」「多様性の尊重」「連携と協働」「KOBE愛」
 - c. 当基金がおよそ5年後に目指すべきビジョン：「チャリティタウン・KOBE」～KOBEを、誰もがお互いを身近な行動の中で応援し合うことができる、チャリティに溢れる街にしよう！
 - d. 当基金の事業のあるべき姿：
 - 【市民・企業】・主体的な社会参加ができる市民・企業を育む。
 - ・身近なアクションを通じて社会に貢献できる。
 - 地域社会の課題を知る。→ 課題の解決に参加する。
 - 【NPO・市民活動団体】・市民・企業から信頼される自律したNPOを育む。
 - ・支援を通じて地域にある課題を発掘する。
 - 【ネットワーク】・協働のつなぎ手として、プロデュース力を活かす。
 - ・セクターを超えた連携で地域の課題解決を支援する。
- 5) 市民ファンド推進研修
 - ・2016年7月1日（金）第2回研修 @東京 江口・戸田参加
 - ・2017年2月17日（金）第3回研修 @東京 江口参加

② 新規寄付プログラム試行

1) チャリティ×防災啓発イベント「ローリングストックって？」

- A. 目的：・神戸新聞事業社と提携して、市民・企業・NPOの3者が参加するテーマ設定型啓発イベントを企画。
・平時も災害に備える生活を考える～「ローリングストック」の日を決めよう！
食品廃棄を減らし『楽しく楽して備える』を体験する。
- B. 構成：・井上食品(株)、神戸女子大学、NPO法人プラスアーツ、認定NPO法人フードバンク関西と当基金との協働で企画・実施。
・ひょうご安全の日推進県民会議の助成を受けて実施
- C. 実施内容：
■開催日時：2016年10月9日(日)10:00～17:00
■開催場所：ハーバーランド高浜岸壁 ラジオ関西まつりブース内
■プログラム内容：
・保存食・非常食を、イベント参加者に持参してもらうよう呼びかける。
・イベント参加者に、保存食・非常食を活用した簡単な料理を販売する。
・イベント参加者に、「ローリングストック」啓発パンフ(レシピ付)を配布する。
・保存食・非常食持参者には、井上食品(株)等から提供頂いた新しい保存食を提供する。
- D. 成果：

- ・9月30日にラジオ関西の番組に出演して、当基金やイベントの目的や内容を発信できた。
- ・下記の各社から広告協賛や食品提供の形で協賛を得ることができた。
(株)夢舞台、奥井電機(株)、戎・太田法律事務所、近畿タクシー(株)、金公認会計士事務所(株)ピーエス、(株)甲南堂印刷、(特活)農楽マッチ勉強会、(社福)三光事業団内外興産(株)、(株)マニックス、神戸女子大学、(株)築港、佐藤庸安税理士事務所生活協同組合コープこうべ、(有)ボック、井上食品(株)、MCC食品(株)、(株)サタケ
- ・賞味期限近くの保存食の持参を呼びかけ、24kgの保存食を提供頂き、新しい保存食を提供し配布した。また、集めた保存食は、認定NPO法人フードバンク関西に寄贈した。
- ・神戸女子大学の学生が考案した保存食を活用した料理を販売し、212食分を完売した。
- ・会場で、「ローリングストック」啓発パンフを約700部配布した。

2) チャリティ・パーティー「寄付がつけねるひと、育てるまち～Tanimatching2017」

- A. 目的：住み慣れた地域(まち)で最期まで暮らし続けたいという願いを、小さくても地域(まち)にとってかけがえのない市民活動団体に「寄付」という形で応援する仕組みを、地域に根差したちよっとおしゃれなチャリティ・パーティーという形で新たに提案させて頂く。
- B. 構成：
■主・共催：認定NPO法人しみん基金・KOBE、
認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸
NPO法人はんしん高齢者くらしの相談室
■後援：兵庫県、神戸市、一般社団法人神戸青年会議所、(社福)神戸市社会福祉協議会
■助成：ひょうごボランティアプラザ
- C. 実施内容：
■開催日時：2017年2月4日(土)13:00～16:30

■開催場所：神戸ベイシェラトンホテル・六甲の間

■プログラム内容：

- ・参加者紹介（支援者）紹介タイム
- ・「市民活動団体」プレゼンテーションタイム
居空間ロココ、こうべ子どもにこにこ会、NPO 法人子ども育ちわたし育ち madorina
NPO 法人花たば、東灘こどもカフェ（あたふたクッキング甲南）、NPO 法人ホザナ・ハウス
- ・参加者と「市民活動団体」の交流タイム
- ・マッチングタイム／結果発表
- ・エンディングセレモニー（ふりかえりタイム）

D. 成果：

- ・参加者：31名、協賛金総額：¥282,000、市民活動団体：6団体、18名、スタッフ：11名。
- ・参加者と「市民活動団体」の交流タイムでは、お互いに出合いと気づきを得ることができた。
- ・プログラム構成は原則この流れで、例えば他のパートナー団体と協働で他の地域でターゲットに合わせた会場や価格を設定することで応用可能であることを確認することができた。

E. その他：

- ・Tanimatcing 実行委員会等の開催
・・・5/19、6/23、8/5、9/2、9/14、10/20、11/9、12/15、1/13、1/27、3/22
- ・Tanimatcing プレセミナーの開催 参加者：25名
開催日：2016年11月20日（土） 開催場所：東灘区民センター
開催内容：基調講演1「寄付」という名の市民活動 戎正晴
基調講演2「あいちコミュニティ財団」について 木村真樹氏
車座トークセッション

③支援者・受益者データベース構築

- ・これまでの課題：18年間の活動実績はあるが、各事業や担当者ごとにバラバラの作成されてきた名簿データが統合されることなく存在していた。
- ・実施内容：現状を把握・整理して、名簿をキーにデータを統合。名簿登録フォームを設定した。
NPO 法人サインポストと協働して実施。
- ・効果：データの一覧性が確保され、作業効率アップにつなげることができた。

カ) 広報・情報発信

① ニュースレター発行：3回

第39号：平成28年7月、第40号：平成29年1月、第41号：平成29年3月

② ホームページ；最新記事を43本掲載。FB；27本記事掲載

③ メルマガ発行：9回（5/23、7/14、8/17、9/16、10/2、10/17、11/14、1/5、2/21）

④ 検索サイト YahooYDN・Google Adwords

・YahooYDN 9月30日をもって終了

・Google Adwords の広告掲示回数(2016年度)

115,596回、 クリック数2,391回、クリック率2%

⑤ 古着チャリティ、古本キフ合同のチラシ作製

⑥ パンフレットプチリニューアル

3 中間支援事業

ア) ハンズオン型NPO マネジメント支援講座事業

この事業は、2013年度から3年間、神戸・兵庫地域のNPO法人等を対象として、現状の経営分析を行い、課題を抽出して中期（事業）計画づくりを行うことを通じて、NPO法人等の経営層のマネジメント能力の向上を図ることを目的とした基本コースと、前年度受講した団体向けに、PDCA サイクル（Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善））をまわすことを定着させていくことを目的としたフォローアップコースで構成して実施してきましたが、今年度は2015年度基本コース受講団体のフォローアップコースのみを行い、合せて2017年度以降の事業リニューアルに向けての検討を行いました

なお、この事業はひょうごボランティア基金・中間支援助成の受託事業として実施しました。

[実施概要]

A. フォローアップコース

(1) 個別訪問：4団体

- ① 2016年6月中・下旬 フォローアップコースの説明、継続意志の確認
- ② 2016年9月中旬 前年度に策定した事業計画案の中間チェックと課題抽出
- ③ 2016年10月～2017年2月 団体ごとの課題に対する助言
- ④ 2017年3月 今年度事業計画実施に対する評価と次年度事業計画に対する助言

(2) 受講団体 4団体

- ① (特活) オーガニック・ライフ・コラボレーション (神戸市東灘区) → 辞退
- ② (特活) こどもコミュニティケア (神戸市垂水区)
- ③ (社福) 神戸市垂水区社会福祉協議会 (神戸市垂水区)
- ④ (特活) チャレンジひがしなだ (神戸市東灘区) → 辞退

B. 事業見直し検討会議

- ① 2016年8月12日 (金) 過去3年間のふりかえり→成果と課題の抽出
- ② 2016年9月15日 (水) 類似事業との比較検討
- ③ 2016年10月14日 (木) 中期ビジョンにおける当事業の位置づけの検討
- ④ 2017年3月13日 (月) 見直しの方向性（「つなぐ」と「育む」を組み合わせる）の検討

[実施体制]

- ・スーパーバイザー：當間克雄氏（兵庫県立大学経営学部教授）
- ・アドバイザー：河合将生氏（Office Musubime 代表、准認定ファンドレイザー）
- ・アドバイザー兼事務局：江口聰（当基金事務局長、認定ファンドレイザー）
- ・事務局：戸田香苗（当基金スタッフ）

イ) NPO 支援活動

- ① 神戸市アドバイザー派遣事業 主催：(特活) 神戸まちづくり研究所 (神戸市からの委託事業)
 - ・(特活) Oneself へのアドバイス：5回 (7/12、8/17、9/20、12/22、2/7)
 - ・べこっこ mama へのアドバイス：2回 (8/22、9/30、3/17)
 - ・NPO 運営ステップアップ講座：3回 (8/28、10/2、10/29)
 - ・MTG・ケース検討会&全体報告会：8回 (4/21、5/24、7/22、8/29、10/2、2/23、3/5、3/23)

- ② マネジメント相談
 - ・(特活) 環境市民・組織基盤強化支援 助成元：パナソニック NPO サポートファンド
MTG：3回 (5/18、7/20、9/9)
 - ・大阪市社会福祉協議会・専門家相談 委託元：大阪市市民局
2/13：(特活) Warabe、(社福) ふれあい共生会、(特活) ところ
3/21：英伸会、つばさ、さんりんしゃ、れもん
3/27：団地の寺子屋、(特活) CAMICA、(特活) 大阪ウォーク、大阪西土業会、なごみのうつわ

- ③ ファンドレイジング研究 協働：日本ファンドレイジング協会関西チャプター
 - ・6/25 第5回ファンドレイジング研究会・関西 @Plug078
テーマ：「お金の地産地消白書を読む」
講師：木村真樹氏 (公益財団法人あいちコミュニティ財団・代表理事)
 - ・12/3 ファンドレイジング大会 in 関西 @大阪大学・豊中キャンパス
テーマ：「寄付を知る、社会を変える。魅せます、関西の底力。」

- ④ ひょうご中間支援NPOネットワーク 事務局：(特活) シミンズ・シーズ
 - ・意見交換会：2回 (9/27、11/17)

- ⑤ 神戸市協働と参画のプラットフォーム
 - ・中間支援NPOと行政の意見交換会：1回 (9/28)
 - ・地域コミュニティ支援者会議：1回 (12/15)

- ⑥ 居場所サミット 主催：(特活) コミュニティ・サポートセンター神戸
開催日：2016年8月7日(日)。場所：神戸市勤労会館
 - ・実行委員会：4回 (6/2、7/14、8/1、9/28)

- ⑦ 講演等その他
 - (ア) 2017年1月18日(水) 企業・NPO “異次元” 交流ライブ「寄付・助成金のしくみを知ろう」
講師：江口事務局長 主催：(社福) 大阪市社会福祉協議会
 - (イ) 2017年2月3日(金) 未来をつなぐ「終活」セミナー
コーディネーター：江口事務局長 主催：(社福) 垂水区社会福祉協議会

ウ) はあ〜とふるふぁんど支援（ボランティアあしすと部門）事業（受託事業）

21 世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。（はあ〜とふるふぁんど申請書より抜粋）

当基金は、この支援事業のうち「ボランティアあしすと」部門の事務局業務を平成 14 年度より毎年受託しています。

- ・主催：はあ〜とふるふぁんど実行委員会（神戸新聞グループ、兵庫県遊技業協同組合）
- ・支援対象 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。
- ・支援金額 全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。

① 平成 28 年度事業

- ・ 4/28 最終審査会
- ・ 5/17 支援先決定通知書類発送
- ・ 6/10 贈呈式

② 平成 29 年度事業

- ・ 申請受付期間 平成 29 年 1 月 5 日（木）～平成 29 年 3 月 6 日（月）
- ・ 申請受付団体数 64 団体（うち 19 団体に支援金交付予定）

4 運営管理

ア) 会議

① 定時総会

開催日：平成28年5月26日（木）18:00～19:00

開催場所：しみん基金・こうべ事務所

出席会員数：24名（うち委任状提出17名）、正会員数：37名

審議事項：（1）平成27年度事業報告並びに決算報告

（2）平成28年度事業計画案並びに予算計画案

（3）役員選任について

（4）基本財産取り崩しについて

② 理事会

1) 平成28年5月12日（木） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①審査員選任、②平成28年度定時総会付議事項、③規程類制定

2) 平成28年6月30日（木） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①理事の役職互選

3) 平成28年9月16日（金） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①特定枠の対応、②平成28年度助成事業・一般枠書類選考

4) 平成28年10月28日（金） 開催場所：神戸市青少年会館

審議事項：①公開審査会選考結果承認・助成先団体・金額の決定、②しみん基金 KOBE 特別賞選考、③平成26年度助成先事業成果報告会、④こうべあい・ウォーク2017

5) 平成28年12月16日（金） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：特になし

6) 平成29年2月24日（金） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①総会・理事会等の今後の日程について

③ 監査

平成28年5月10日（火） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

監事：佐藤庸安、森田拓也

④ 四役運営会議

平成28年4月30日（土） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：①平成28年度定時総会に付議する事項、②各事業の詳細について

⑤ 理事・審査員合同会議

平成28年7月22日（金） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：①平成28年度助成事業について、②これまでの継続協議事項について

イ) 管理

①役員報酬規程・職員旅費規程の制定

②会員向けに、年賀状・お誕生日カードの送付

ウ) 運営上の重要事項

①つなごう神戸

市民活動応援ポータルサイト「つなごう神戸」の運営事務局神戸市からが公募されていたので、当基金の中期ビジョンの趣旨に合致していたので、平成28年12月16日に申込を行った。その後、平成29年1月6日に企画提案書を提出、同1月23日に選考プレゼンテーションを経て、2月3日に採択通知を受け、平成29年4月1日より、「つなごう神戸」の運営を担うことになった。